

## 南北戦争後のアメリカ社会

No.140で黒人差別を中心に述べた。ここでは経済の発展を中心に述べる。

要点は次の3つである。

- 1) 南北戦争後の約30年間＝「金ピカ時代」 産業革命はほぼ終わり、**独占資本主義への移行**が行われた。世界的分業体制の中で、**原料供給地から中心国に移行**した。急激な経済成長は、何事も金次第という社会的な風潮を生み出した。政治家の多くは大企業と結びつき腐敗・墮落をきわめていた。文豪マーク＝トウェイン(1835-1910)は、この風潮を「【1: \_\_\_\_\_】」と風刺した。**重化学工業化**(第二次産業革命)に成功し、【2: \_\_\_\_\_】とともに世界的な工業国に発展し、19世紀末には世界第一の工業国となった。一般民衆の暮らしは相変わらず厳しく過酷だった。ジム・クロウ制度(No.140)は以上のような風潮の中で作られた。南北戦争の授業を聞いたある生徒さんの感想：「先生、極論すれば、結局、南北戦争って、黒人奴隷制度撤廃や人権じゃなくて、北部の金持ちがもっと儲けるためにやったんですね」
- 2) 「**革新主義**」の時代 19世紀末～第1世界大戦まで。 \_\_\_\_\_ 同時にそれは下記の3)でもある。
  - ①【3: \_\_\_\_\_】大統領(共和党 在職1901-09)、「**革新主義**」を掲げる。進歩主義とも言う。**反トラスト法**(1890年の**シャーマン反トラスト法**)を発動して**独占資本を規制**した。
  - ②**ウィルソン大統領**(民主党 在職1913-21) 「**新しい自由**」……これも、「**革新主義**」と本質的に同じ。**反トラスト法**(1914年の**クレイトン法**)を成立させた。《重要》革新主義とは産業の独占化、社会的不平等の拡大に対して、中産階級の人々を中心となって**自由競争の復活や政界の浄化**を求めた政治・社会運動。**独占を適切に規制し、ある程度労働者を保護**することを特徴とする。上記①と②の間：**タフト大統領**(共和党、在任1909-13)は「無能で無策」とされ民主党に負ける。
- 3) 海外進出を始めた時代である。 \_\_\_\_\_ アメリカ合衆国は**1890年代以降、海外に植民地を求め**ようになる。
  - 1867年 ロシアから**アラスカ**を購入
  - 1887年 ハワイ真珠湾永久租借
  - 1889年 第1回【4: \_\_\_\_\_】**ワシントン**で開催 《出題された》  
このころ、アメリカ合衆国は伝統的な孤立主義を放棄したとされる。
  - 1895年 スペイン領キューバで独立運動が起きると独立を支援
  - ①**マッキンリー大統領**(共和党 在職1897-1901)時代 《頻出》下線部がマッキンリー大統領の時代であること。
    - 1898年 【5: \_\_\_\_\_】**併合** (1959年に50番目の州になる。)
    - 1898年4月 アメリカ＝スペイン戦争(米西戦争)……キューバの独立運動と米艦**メイン号**爆沈事件が口実とされた。2月15日の**メイン号**爆発事件は、スペインとの開戦を要求するアメリカ国内の強硬派によって開戦の口実に使用された。ハバナで起きた暴動に対応するため派遣されハバナ湾に停泊していた**メイン号**は、夜9:40に爆発を起こす。計5トンにも及ぶ砲の装薬が艦の前方を吹き飛ばし、乗員の多くは艦の前方で就寝もしくは休憩中で、260名が即死。ボーイ、コックとして乗艦していた日本人8名中6名が死亡。爆発の原因は未だに不明だが、破壊工作というより事故の可能性が高い。にもかかわらずアメリカ海事審判所は機雷による爆破だとして責任はスペインにあると断定した。これによって“Remember the Maine”(メイン号を忘れるな)の合い言葉が新聞などのメディアで叫ばれ、一気に戦争機運が高まった。
    - 1898年の**パリ条約**で、スペインに**キューバの独立**を認めさせ、スペインの植民地だった【6: \_\_\_\_\_】  
\_\_\_\_\_ **島を割譲**させた。
    - 1899-1900 【7: \_\_\_\_\_】(國務長官ジョン＝ヘイ) **中国**に関する(1899年に) **門戸開放・機会均等**、(1900年に) **領土保全**の3原則を宣言した。11J
    - 1901年 【8: \_\_\_\_\_】を憲法に書き込ませ、**キューバを保護国化**した。
  - ②**セオドア＝ローズヴェルト大統領**(共和党 在職1901-09)時代 \_\_\_\_\_ **米西戦争では戦闘に参加した** 09K  
1903年ごろより、**カリブ海政策**＝「【9: \_\_\_\_\_】」を展開 《頻出》 \_\_\_\_\_ **ウィルソンは宣教師外交**  
1903年 アメリカの援助で**パナマ独立**  
1904年【10: \_\_\_\_\_】着工、開通は1914年。 \_\_\_\_\_ **スエズ運河**は1859年着工、1869年開通。  
1904-05年 日露戦争には中立的立場をとり、ポーツマス講和会議を斡旋した。  
日露戦争中の1905年7月29日に**桂・タフト協定**(日本の朝鮮支配、アメリカのフィリピン支配を相互に確認)

## 南北戦争後のアメリカ社会の特徴

今日のアメリカ合衆国が持つあらゆる輝きと課題のほとんどがこの時期に形成された。

- 1) 「**移民の国、アメリカ**」 \_\_\_\_\_ ヨーロッパからの大量の【11: \_\_\_\_\_】が合衆国経済を支えた。1840年代半ば以降**ジャガイモ飢饉**のために【12: \_\_\_\_\_】からの移民が増加、1880年代以前は西欧系や北欧系の移民が多かったが、**1880年代からは東欧系や南欧系の移民(新移民)**10Kが増え、ユダヤ人やアジアからの移民も受け入れた。北欧、西欧系の移民は**旧移民**、**ロシア人は新移民**と呼ばれた。10J  
移民の多くは低賃金の不熟練労働者であり、後に移民制限運動などが起きた。  
1869年 最初の【13: \_\_\_\_\_】(サンフランシスコ～シカゴ間)が完成、国内市場の結びつきを強めたが、

建設に当たったのは【14: 】からの移民であるが、開通記念の大集合写真には彼らの姿は一人も写っていない。

1882年の移民法で、偏見のため中国人の移民は厳しく制限された。

クーリー（苦力）とは 中国人、インド人を中心とするアジア系移民に対する蔑称。彼らはヨーロッパ出身者より少数で、低賃金で過酷な労働を強いられた。

悪名高い1924年の移民法では新移民（東欧・南欧系の移民）に対する制限を強め、同時にアジア系移民を全面禁止した。1924年というのはミスプリントではない。ホントに20世紀の話である。

《常識》次の有名人は移民、またはその子孫である。

《出題された》

アンドリュー=カーネギー 1835-1919 鉄鋼王	……スコットランド生まれ
フランシス=コッポラ 1939- 映画監督	……イタリア系
ジョン=F=ケネディ 1917-63 第35代大統領	……アイルランド系 3世
ヘンリー=キッシンジャー 1923- 元国務長官	……ドイツ生まれのユダヤ人
エリソン=オニヅカ 1946-86 宇宙飛行士	……ハワイ生まれの日系 3世

特にフロンティアでは経済的成功のチャンスが大きく開かれている、と移民たちは信じた。フロンティアにおける不確かな数々の成功話（アメリカン=ドリーム）は世界中の貧しい人々をアメリカ合衆国に引きつけた。

著者の私見であるが、一般に今日、アメリカン・ドリーム（American Dream）は西部開拓時代のそれよりも広い意味で使われている。その具体的内容は必ずしも一律ではないが、多くのアメリカ人に共有されている願望である。あえてその中身を述べれば、自由な政治体制を前提に、特権とは無縁の社会、つまり努力と運があればどんな経済的成功をも実現し得るような可能性に満ちた理想的な社会における、個人の成功の可能性を指す言葉である。それは、アメリカ人が、建国以来もち続けてきたアメリカ的な理想であり、現在なお見はてぬ夢として、多くのアメリカ人の生活に「やる気」を起こさせる役割をはたしている。西部開拓の19世紀に限らず、繁栄を謳歌した1920年代アメリカの成功者ウォルト=ディズニーも、20世紀末から21世紀にまたがるIT長者ビル=ゲイツも、アメリカン=ドリームの体現者であると言える。

映画『幸せのちから』（原題：“The Pursuit of Happiness” 2006年 アメリカ）は、事業に失敗しホームレスになった子連れのアフリカ系市民が、半年に及ぶ無給の専門的研修で採用は20人中1人という厳しい条件の中で、驚くべき努力と幸運で一流の証券会社に採用されるサクセスストーリーである。2時間近い長さを感じさせない。実在するクリス=ガードナーの半生が元になっている。21世紀になっても、アメリカ人はこういう話に感動するんだということにも感動してしまう。今もアメリカン=ドリームの国なのだ。主演はウィル=スミスで実の息子との共演。原題はアメリカ独立宣言にある“The pursuit of happiness”（幸福の追求）に由来する。原題が“Happiness”ではなく、“Happyness”になっているのは、息子の託児所の壁の落書きにあったスペルミスが元となっている。英語の得意な諸君は気になっただろう。ちなみに、日本国憲法第13条は次のように規定する。「すべて国民は、個人として尊重される。生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする。」わが国でも「幸福を追求する権利」は憲法上認められているのである。

## 2) 全米最大の大都市 ニューヨーク

1664年、オランダの所有する【15: \_\_\_\_\_】を占領して改名したのが起源。 《出題された》

映画『バットマン』に登場する「ゴッサム・シティ（衆愚の街）」とはニューヨークの別名。

東部は早くから都市化が進み、電灯、電信、電話が普及。

マンハッタンの高層ビル街は、西側資本主義の牙城とみなされ、2001年9月11日、世界貿易センターは民間航空機を乗っ取ったテロ攻撃で崩壊した。その後アメリカは「テロとの戦い」を口実にアフガニスタン戦争、そしてイラク戦争へと突き進んだ。

20世紀初頭から、マンハッタンのブロードウェイ、タイムズスクエア周辺は劇場街（Theater District）となり、日常的に多くの有名な演劇や舞台、ミュージカルなどが上演されるようになった。ここで好評だった作品は世界中で再演される。『アニー』『屋根の上のバイオリン弾き』『キャッツ』『オペラ座の怪人』……。アメリカ合衆国は演劇・ミュージカル文化の重要な発信源である。なお、カリフォルニア州のハリウッドが映画制作の中心となるのは1911年以降である。

## 3) 先住民は今は「ネイティブ・アメリカン」と呼ばれている。この表現は適切とは言えない。 No.139で既述。

## 4) 「第1の8時間は仕事のために、第2の8時間は休息のために、そして残りの8時間は、おれたちの好きなことのために」アメリカは「メーデー」発祥の地

1886年5月1日に合衆国カナダ職能労働組合連盟（後のアメリカ労働総同盟）が、シカゴを中心に8時間労働制を要求するゼネラルストライキを行った時のスローガン。これがメーデーの起源である。当時、1日12時間から14時間労働が当たり前だった。

1886年 【16: \_\_\_\_\_】（AFL）結成 職業別組合の連合組織 熟練労働者の組織  
会長はサミュエル=ゴンパース。マルクス主義とは一線を画し、労働組合の政治闘争に反対し、労働条件の改善をめざす経済闘争を重視。

1905年 世界産業労働者同盟（IWW）結成

## 5) これが本物の金持ちだ! アメリカ資本主義を代表する経営者の初代を覚えよう。《出題頻度は高い》

【17: \_\_\_\_\_】 1835-1919 「鉄鋼王」 晩年は事業をモーガンに売却、文化、慈善事業に専心。

【18: \_\_\_\_\_】 1839-1937 石油産業 スタンダード石油会社（1870）、石油トラスト（1882）

【19: \_\_\_\_\_】 1837-1913 投資銀行業 モーガン商会 USスチール（1901）

カーネギー製鋼を買収し全米鉄鋼市場を独占。

## 6) 立ち上がる女性たち

1848年 セネカ=フォールズ会議で女性参政権の要求が決議された。 1869年 全米女性参政権協会結成

合衆国では連邦レベルで女性参政権が実現したのは、1920年である。

なお、世界で最も早く女性参政権を実現したのはニュージーランドで、1893年（選挙権）・1919年（被選挙権）である。